

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表日

2025年 2月 20日

事業所名 こばんはうすさくら 宮前教室 保護者等数(児童数) 39名 回収数 30件(割合 76.9%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	5	0	2	少し部屋が狭い気もする 怪我（利用者による他害や本人の不注意）が多いと感じました	環境設備を見返し4月までに改善する。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	5	0	6	専門性は、適切だと思います。配置数は、わからないので、配置数に関してはわからない 送迎車はもっと増やして、時間対応をしていただけたとかなりありがとうございます	送迎車の手配については会社で話し合う。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	5	3	13	福祉住環境コーディネーターとしての視点から見ると、完全とは言えずです。	今現在の児童のニーズとしては問題ないと思うが、必要とあれば検討する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	3	0	4		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	29	0	0	1	いつも相談に乗ってくれる先生がいて安心している。	定期的な面談案内などしていく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	5	0	2		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29	0	0	1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービススカイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	0	0	5		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	0	0	5		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	5	0	4		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	5	6	11	8		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30	0	0	0	いつも丁寧にお話しくださいます	契約、面談時に説明をする。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	6	0	2	よくわかりません。	必要な人財であれば研修受講し設置する。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24	0	0	6	とても丁寧に対応してくださいます 定期的に面談をしていただいているので様子を知っています。	その日にあたることは当日中に保護者へ共有するようにする
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	0	0	2	とても丁寧に対応してくださっています	面談の案内をLINEやHUGで定期的に行う
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	0	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	6	3	3	保護者同士の間わりはないですが、保護者会があり話が聞けて良かった。	半年後にまた保護者会は実施する予定である
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	2	0	8	支援者間で認識の共有、対応が現場でできているかはわからない	児童リストを活用し職員間での認識の共有を徹底する
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	1	0	2		

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	29	0	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26	1	0	3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	2	0	11		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	0	0	4		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	2	4	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28	0	0	2	発熱時などすぐにご連絡いただきます。	緊急連絡先の見直しを行う
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	25	0	0	5		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23	2	4	1	とても楽しく通えていると思います 最近、お菓子が好みではないみたい 帰宅時間が遅いのが最近になって嫌がるようになった。 他へは変えたくないと言っています。	提供するお菓子の内容を保護者さまと相談する
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	0	0	8	いつもきめ細かい支援を、安心して利用させていただいています。ありがとうございます！ 滞在時間が短くても、本人が放課後安心して楽しめる場所としてとても満足している。 帰りの車の送迎がなくなるから負担になる 来年から帰りの送迎がなくなるので負担になる 本人は話せないので満足しているか謎ですが、先生みなさん優しそうで楽しそうに通っています。 満足しているため、このまま引き続き利用を希望します。	送迎車については引き続き検討をし保護者様へお返事をする。

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表日		2025年 2月 20日	事業所名	こばんはうすさくら 宮前教室		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12		分断しふたてに分ける 使わないものは置かない 4放黛と児発、更に広い空間とロッカー スペースの確保。	15人+支援員だと、とても密集していて何かしらの改善が必要だと思う。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	4	児童の様子を聞きながら、どこにつけば良いかリーダーに確認したり自己判断したりしている 児童3名に対して1名以上の職員配置	職員への業務の偏りを均したい
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	6	利用児童の傾向的にバリアフリー化は必要ないと感じている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	1		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15	1	相談室や二階の活用ができている	
業	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12	4	振り返りの時間を設ける	児童リストの更新を心がけているがどれくらいの職員が参考にしているのかは不明、振り返りを行う時間の確保が難しいの確保が難しい
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	2		

務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	6	ミーティングや面談の機会が多い	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	5		ガイドラインアンケートの結果周知
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	16	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	15	1		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	2		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	3		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	3		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	6	チームでは行っていないが、利用する児童を見て、このプログラムすると大丈夫なのかと、トラブルが起きないように見ている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	14	2		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	5	日による、職員による↑ 社員ひとりとパートさんだけであれば、こういう風に動きますよと伝達している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	6	会議形式ではないが気づいた点の共有を行う。 社員では行っていることが多い	打ち合わせの時間の確保が送迎等で難しい
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	4]	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	15	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	15	1		
関係機関や保護者	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13	2		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	13	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	12	4		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	14	2		

一 との 連 携	32	放課後児童 クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	11		職員のスキルアップ、ソーシャルスキルに重きを置いた支援、集団プログラムの実施などを促進し、隔離のない子どもとの活動の機会に向けて教室全体で準備する。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	5	11		地域の関連機関との積極的なネットワーキングと情報の取得に努める。参加できる時間と人員の確保に努める。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15	1		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンット・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	7		人員育成の促進、研修時間の確保を会社が積極的にサポートできる体制の確立。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	15	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15	1		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	5		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に對して発信しているか。	13	3		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	16	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	6	地域、保護者も招待したイベント（夏祭り）の開催。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	2		一部不十分なため、今年度中に周知を目指す
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	4		一部不十分なため、今年度中に周知を目指す
非 常 時 等 の 対 応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15	1		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16	0	自動的にメーリングリストで全職員に送信される設定にしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	1	ビデオなどみる 1相談報告が匿名記入可能なオンラインフォームを設置している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	14	2		